

平成29年度 防衛大学校卒業式
防衛大学校長式辞

本日、防衛大学校第62期本科学生494名、および理工学研究科、総合安全保障研究科の前期課程学生54名と後期課程学生9名が所定の課程を修め、卒業のよき日を迎えました。

この中には、日本人とともに同じ課程を修了したタイ、フィリピン、インドネシア、モンゴル、ベトナム、カンボジア、東ティモール、ミャンマー、ラオスからの留学生諸君が、本科で20名、研究科で6名含まれています。各国を代表する諸君たちの真摯な努力に敬意を表します。

防衛大学校の全教職員を代表して、すべての卒業生諸君に対して、心からの祝意を表したいと思います。

学生諸君、卒業、おめでとう！

本日はまた、卒業生諸君を支えてこられたご家族・ご親族の皆様に対しましても、防衛大学校を代表して心よりお慶びを申し上げます。お預かりした学生諸君は、知的・精神的にも鍛えられ、洗練された人間として成長したことをここにご報告いたします。

この式典に際し、安倍晋三内閣総理大臣、小野寺五典防衛大臣のご臨席を賜りました。これは防衛大学校が浴する恩恵であり、この上ない名誉とするところであります。防衛大学校を代表して、衷心より御礼を申し上げます。

昨今の情勢を顧みるまでもなく、周辺地域の安全保障環境は悪化の度合いを増しており、本日の卒業生諸君を迎える国際情勢は決して楽観できる状況ではありません。総理と防衛大臣が卒業式にご臨席され、諸君たちを直接に激励されることの意味と重さを感じてもらいたいと思います。

本日の卒業式には、数多くのご来賓の方々をお迎えすることができました。すべてのご来賓の皆様方に厚く御礼を申し上げます。米国における日本政治研究の第一人者であるコロンビア大学名誉教授のジェラルド・カーティス様には、後ほどご来賓を代表して（ご自身の書かれた日本語で）ご祝辞を賜ります。

また、本日の卒業式には、ホームカミングデーとして昭和50年（1975年）に防大を卒業された第19期の皆さんがご家族を合わせて約300名ご列席されています。

今日の日本の平和と繁栄は、防大卒業生の皆さんが、過酷な条件下で、大きな任務と責任を果たされた賜物であります。崇高な使命を見事に完遂されて、本日無事に帰校された第19期の皆さんに盛大な拍手をお願いいたします。

皆さん、お帰りなさい！

同じ19期卒業生であり、長年本校の教授として防大の学問と教育に尽力され、とりわけ過去4年間熱情溢れる副校長として、そして慈愛に満ちた先輩として防大生を育て上げ、この3月で退官される渡邊啓二先生もおられます。

渡邊先生、ありがとうございました！

さて、今年度の4学年は、様々な問題に直面する中で、1学年から2学年の途中で学生間指導の要領が全面的に変わりました。それは、自主自律を基本原則とし、上級生による威圧的指導を禁じ、説得と対話を通じて主体的に問題の解決を図るというものでした。

そして諸君は見事にこの新たな指導方針を軌道に乗せ、「世界一の士官学校」という高い目標に向かってともに動き出してくれました。今後諸君は、日本だけでなく世界からも評価される自衛隊の幹部となるべく、より高い理想を抱いてください。

昭和30年代中葉、防大では同じような論争が起こりました。それは、17世紀の偉大な科学者、パスカルの格言「人間は考える葦である」をめぐって、学生たちが「考えぬ葦」や考える「暇のない葦」になってはいないかと問題提起したことで始まりました。この論争は、最終的に榎智雄学校長が、防大生は主体性を持った「考える葦」であらねばならないと強く論じ、決着しました。

榎学校長が好んで引用されたパスカルは、その遺稿集『パンセ』の中で、人間は考えるために生きており、そこにこそ人間の尊厳と価値があるとも述べています。

そこで最後に、主体的に考える人間として大きく成長した学生諸君に対して、次の二つの英語表現を贈りたいと思います。

一つは「センス・オヴ・プロポーション」で、それは物事の重要性を見極め識別する能力を意味します。

もう一つは「グラスプ・オヴ・シングス」で、それは物事や問題の核心をつかみ取る能力を意味しています。これらは、新渡戸稲造が戦前、若きジャーナリストの松本重治に語った言葉であります。

諸君たちは、今後、危険や危機と隣り合わせの中で、一瞬の判断と決断を求められることになります。諸君たちには「流される葦」ではなく、防大で培った根をし

っかり張った「考える葦」として、物事の軽重を判断し、物事の本質を見極める能力をさらに磨き上げ、日本と世界の平和と安全のためにその人生を捧げてもらいたいと思います。

未来の平和と安全を築くのは君たちです。

卒業生諸君の今後の奮闘を祈ります。

最後に改めて、防大生諸君、卒業おめでとう！

平成30年3月18日
防衛大学校長 國分 良成